

令和2年度 第1回利府町総合教育会議 会議録

- 1 開催日時 令和3年3月24日(水)
午後0時50分から午後2時15分まで
- 2 開催場所 利府町役場 会議室
- 3 出席者 熊谷大町長、本明陽一教育長、石川一美教育長職務代行委員、村松淳司教育委員、高田修教育委員、鈴木則昭総務課長、鎌田功紀秘書政策室長、宮本利浩教育次長、鈴木久仁子教育総務課長、大谷浩貴生涯学習課長、櫻井渉総務給食班長、三上美雪総務給食班主事

4 開会

5 あいさつ

熊谷町長

教育委員の皆様方には、本日はお忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、小中学校の卒業式に出席いただきましてありがとうございます。コロナ禍ではありますが無事子どもたちを送り出すことができ安堵しました。その後の地震もあり、ご心配ではなかろうかと思えます。入学式を迎えることができるよう準備してまいります。

私、先日石川教育委員ともお話しさせていただきましたが、教育活動には常に関心を向けていなければならいと感じたことがありました。昔は、小学校でも児童会活動があったはずだが、20年ぐらい前から廃止されていたことを先日利府第三小学校の校長先生との話の中で気づきました。

さて、リフノスも外観が完成し、後はリフノスに魂を込めていく作業の段階となりました。子ども達また子ども達のみならず町民の方々の文化拠点がひとつのランドマークとして出来上がったことは慶賀に堪えないところでございます。しっかりとその拠点を活用しつつ、文化発信と文化創生できたらと思っております。

コロナ禍の教育活動は大変厳しいものがあると思いますが、その中でも、利府第三小学校の子どもたちが「算数チャレンジ大会」において県内1位になったということは本当に誇らしいことと思っておりますし、

そういう子どもたちの意欲、能力をますます伸ばして町としてもバックアップしていきたいと思えます。

今日の議題はお手元にあります「令和3年度施政方針における「教育施策」について」と「利府町総合計画における「教育分野」について」皆様と意見交換をし、情報共有を図りたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

結びになりますが、毎年夏に「こちら町長室」にて、子どもたちの主権者教育を取り組んでいます。公約でも子どもたちに総合学習にて議会を傍聴してほしいと思っております。議会を傍聴することで議会での町長発信が町の最先端の課題を取り上げているもので、そういうところを見て意識的に社会課題の解決に子どもたちの意識が向いたらと思っております。公約にも書かせていただいております。子どもたちへキャリア教育的なアプローチとして、役場の仕事を見て「行政の仕事」や「議会との関わり」は役場の職員はこういうことをしているということ、主権者教育につながるならと思ひ試みておりましたが、先般その試みである「こちら町長室」について「ボーターズ」という小冊子に掲載していただき、全国に発信できたかと思ひます。今後も継続的に教育活動に取り組んでいきたいと思ひますし、これからも大人と子どもと町の未来についてこのように取り組んでまいりたいと思ひます。本日はよろしくお願ひいたします。

6 議 題

(1) 令和3年度施政方針における「教育施策」について

熊谷町長

(1) 令和3年度施政方針における「教育施策」について、秘書政策室より説明願ひます。

(説明者：鎌田秘書政策室長)

資料により説明

熊谷町長

ありがとうございました。

広範囲にわたる説明となりました。リフノスのことから、GIGAスクール等々をはじめ、志教育、児童虐待の対応、生涯学習と予算の範囲まで詳しく説明をいただきました。ただいまの説明につきましてぜひご意見いただきたいと思ひます。

石川教育長職務代行委員

G I G Aスクール構想の説明をいただいておりますが、毎回定例教育委員会でもお話しておりますが、何故、教育委員会の方にW i - F iを設置しないのですか。教育委員会がG I G Aスクールの内容を見ることができません。先日交流館内にW i - F iを置いたとのことですが、庁舎自体は入っていない。これからの世の中は庁舎自体にもW i - F iが必要なのではないか。インターネットの活用も必要だと思います。リフノスもW i - F iはどうなっているのかも分からないので、その辺を町長はどのようにお考えか伺いたい。

主な施策事業の10ページの、豊かな心を育む生がづくりの中のスポーツ振興についてです。利府町はスポーツ振興計画を策定しておりません。教育振興計画策定の際も意見しましたが、誰もがスポーツに親しむ点については理解できますが、何をもって活動支援をしていくのか、大きな主となるものが分からないので教えてください。

村松委員

質問ではありませんが、2の「教育・文化」をゆたかにの説明のなかで、子ども医療費無償かの対象に18歳までの児童とあるが、「子ども」の記載の誤りではないですか。

それから、主な施策事業の資料5ページ 学校教育についての中で、「小1プロブレム」とあるが、なぜ、「小1プロブレム」だけ取り上げられたのか、小学2年生以降は引きずる場合もあるが小学1年生で終わってしまっていて、それ以上のいろいろある問題については姿を消している状態です。なぜ、「小1プロブレム」それだけ取り上げるのか知りたい。どのように対処していきますか。

10ページの豊かな心を育む生きがづくりの中の文化財保護についてですけれども、先日町長ともお話ししましたが、沢乙温泉内海旅館の話や菅谷不動尊の裏山にのぼり子ども達を連れて探索するが、単に展示するだけではなく、そのような活動が必要なのではないですか。我々も遺跡捜査に同行しますが、結構いろいろなところに遺跡があるので、多賀城市政庁跡からのバックヤードに利府も位置しますので、利府を愛する心を育む点でも具体的な活動をするのか伺いたい。

高田委員

屋内温水プールの改修について毎回取り上げられていますが、プール改修は進められていますか。

本明教育長

私としては、今年度タブレットを揃えていただき、利府町は遅れてい

たので心配されていたが、県内でもハード面は早いほうだったかと思えます。次にソフト面へ取り組んでいかねばならないと考えております。リフノスが生涯学習の拠点になるだけではなく、学校教育においても活用していかなければなりません。

4月より、両課が1つのフロアとなりますので、両課でともに子どもたちや一般町民の方々達の交流の場になればと考えております。私としては、委員方々の質問にお答えしていかなければならないと思えます。

本年度教育委員会の設備等でいろいろと尽力賜りましたので感謝しております。以上です。

熊谷町長

ありがとうございます。Wi-Fiが本庁舎にないのは早急に解決していかなければならないことだと財務課当局と話しており、やっと交流館の方に付いたかたちでございます。今後は本庁舎になるであろうかと思えますが、職員もタブレットを持っていないので、財務課としては、設置しても職員は個人のスマホで閲覧している状況となりますので、職員が持つものと個人が持つものを一体として検討していかなければならないと当局とも話していましたので、決して石川委員のお考えを蔑ろにしている訳ではございませんので、承知ください。

石川教育長職務代行委員

今の時代はタブレットが主流であり、今回の資料でもですが、タブレットを預けていただければ、ペーパーレスにもなります。職員の方々のパソコンもケーブルが必要なくなりますので、今後を見据えていれば経費も削減できるかと思えますので、今はできないが来年度以降のお考えを伺えたらと思えます。

熊谷町長

ありがとうございます。4月から機構改革もあり、外部の職員も本庁舎に入ることとなりますので、その状況をみて今後の課題といたしますので、しばしお待ちください。

つづきまして、2点目のスポーツ振興計画については、石川委員から以前よりお話を受けておりましたので考えておりました。私自身もこの前毎日新聞にも掲載されましたが、オリンピックを契機に女性アスリートを応援する町というのを考えているので、そういったことも踏まえての全体的なスポーツの在り方を考えておりました。

石川教育長職務代行委員

宮城県の方も令和5年から新しい計画が策定されるようで、今から広く県民にアンケート取りましようという話が出ております。それに合わ

せて利府町も3年や4年でアンケートを取り、県の計画を受けて町もどのように策定するか、今から取り掛かった方がよいのではないかと考えております。

熊谷町長

分かりました。ありがとうございます。策定してまいりたいと思います。

村松委員

計画の件でよろしいでしょうか。我々も実は、生涯学習の方で社会教育委員の時に策定した計画がなかなかできないと話していました。昔のデータとなりますので、新たに策定が必要かと思います。私も仙台市のスポーツ振興計画策定委員をやっております。もうすぐ審議に入りますので役に立つ情報もあるかと思うのでお声をかけてください。

熊谷町長

次の質問として、「小1プロブレム」について事務局お願いします。

鈴木教育総務課長

サポートティーチャー制度自体は10年以上ぐらい前からあり、「小1プロブレム」については、幼稚園保育所から小学校にあがる児童の支援をしている事業であります。なお、サポートティーチャーにおいては、学年を問わず支援をいただいている状況です。特別支援助手についても各校に1名ずつ配置しております。グレーゾーンの児童生徒のために令和2年度より必要な学校については、加配をつけております。この事業については、他市町村よりいち早く本町が対応している状況であります。

村松委員

すみません。そういう意味ではなく、私も「小1プロブレム」については、理解しています。この文面を読むと、誤解をまねいていると思います。我々だけが見るのではなく町民の方々が読むので、「小1プロブレム」だけやっているのかと読める内容ではないかという意味で伺っておりました。「小1プロブレム」を解決するには、小学校に入ってからでは遅すぎるので、保育園や幼稚園の段階の幼児教育で解消するのが重要であるため、幼保小が連携しなければならないと思います。町が小学校になってからやるのという部分があまりよくないことと思います。

熊谷町長

書き方について、今後記載を見直してください。

本明教育長

この件については、幼児教育の中でチャイルドシップにて事業として

利府町では実施しておりますのでご理解ください。

熊谷町長

文化財保護についてとプール改修の件について生涯学習課長お願いします。

大谷生涯学習課長

文化財保護につきましては、年2回文化財保護審議会にて保護活動や保存計画をについて審議しております。町内は松島に近く、町の文化財の指定を進めているところです。候補地は町全体として17箇所あります。予算も伴うものとなりますので、徐々に進めてまいります。また、郷土資料館については、令和3年から4年までは閉鎖中ですが、学校と連携を図りながら、独自のかたちで体験学習などを行い文化財の伝承に努めてまいります。

プール改修につきましては、以前は大規模改修をして1年～2年休みを取って改修する見積もりを取りましたが、年明け改めて違う会社で調査したところ、多少の修繕箇所だけで運営できるとの結論が出ました。なお、今後は十符の里パーク全体を指定管理者導入すべき方針で進めていきたいと思っております。

熊谷町長

他に、ご質問ございますか。

特になし

(2) 利府町総合計画(2021-2030)における「教育分野」について

熊谷町長

続きまして、(2)利府町総合計画(2021-2030)における「教育分野」について、初めに概要について秘書政策室より説明願います。

(説明者：鎌田秘書政策室長)

資料により説明

熊谷町長

続きまして、学校教育について教育総務課長より説明願います。

(説明者：鈴木教育総務課長)

資料により説明

熊谷町長

続きまして、生涯学習について生涯学習課長より説明願います。

(説明者：大谷生涯学習課長)

資料により説明

熊谷町長

説明いただきましたので、ご質問をいただきます。

石川教育長職務代行委員

特にありません。

村松委員

数値目標があるのは良いことですね。質問はありません。

高田委員

この頃のどの計画にも、必ずSDGsが表示されていますが、これは必ず必要となっているのでしょうか。

熊谷町長

SDGsとの関わりですね。事務局お願いします。

鎌田秘書政策課長

SDGsについては、必ず掲げなければならないものではありません。SDGsがそれぞれの施策の部分のどの部分にあたるのか、あてはめて作りこんでみました。県の総合計画内にもあります。

高田委員

それぞれを見てみると、当てはまるものに印をつけているように見受けられる。SDGsはあくまでも目標ですので、これを実現するにはどのようにするかなので、ただ並べただけのように見えてしまいます。SDGsは国連の大事な目標であると思いますので、基本計画を立てるのであれば、例えば、SDGsの貧困をなくす利府町としての取り組みなどが施策なのではないか。下の方にただ書かれているのは残念に思えます。

鎌田秘書政策課長

町がSDGsに繋がっていくそれぞれ具体的な事業については、計画の12ページで説明しました。あくまでも、この冊子は基本構想、基本計画であります。おおくりの目標・計画であります。具体的な実施する事業の詳細は3年先までの個別の事業についての実施計画を策定し、毎年予算化し実施しております。ご意見ありがとうございました。

熊谷町長

確かにご意見のとおり、SDGsについては、浸透していない部分もあるかと思えます。今後も精査しながら、計画についても5年に一度の見直しもありますので、検討していきたいと思えます。

村松委員

先日、利府小学校の学校訪問の際、社会の授業にてSDGsについての授業でした。子どもたちの方が知識あるかもしれません。

熊谷町長

子ども達の学校教育の方が先を進んでいるようですね。ありがとうございます。

本明教育長

27ページ 学校教育に望むこととして、学力向上やいじめ不登校をなくすとありますが、教員の資質、指導力に関わってくるものでありますので、教育委員会としては力を入れているところでありますが、この点については、重く受け止めてがんばってまいります。5つのシップについては、今後も引き続き進めてまいります。施策の展開として、73ページ サポートティーチャーの数的な配置、ALTの配置については、予算的なものも絡んでまいりますので、財務課にもお願いすることとなります。95ページの歴史・文化の保存であります。郷土ふれあい学習会の参加者数ですが、郷土資料館の移転も関わってまいりますので、数字的にもむずかしくならないように生涯学習課も進めていかなければならないと思っております。都市化していく中での利府らしい教育を目指していかなければならないと思っております。山・川・海・沼と持っている町はなかなかなく、田畑や歴史ある梨など、非常にバランスの良い町です。環境との関わりを教育の中で生かしていき、健やかな心身を育む政策を大切にしていきたいと思っております。自立して自立できる人間、学力の向上や心の教育など、求められているものに対しては、綿密な計画のもと進めてまいりたいと思っております。

熊谷町長

事務局に1点確認したいのですが、学力の向上の学力とは、学歴のことなのか、勉強の能力のことなのか。私は学歴というと今回、はやぶさ2のTDCの従業員を例にあげると、特別な子どもたちではなく、利府町の子どもたちを採用していただき、OJTで宇宙にも通用する技術や知識を取得させていただいているとのことで、生涯学習に繋がる、常に新しい知識を取り入れ、学ぶ意欲を落とさないことが学力ではないかと思われま。また、教育長も話したように、利府町は環境が整っていますので、バランスの良い発展の仕方を常に模索していかなければならないと思っております。その為には確実な予算の確保をしていかなければならないと共に、今回機構改革にて新たにシティーセールス係、民間で言いますと営業係を設けましたので、その係に頑張ってもらい利府町をPRしていただければと思っております。

高田委員

学力向上の話ですが、やはりトータルだと思います。学力向上には、

教えるだけではなく興味関心をどうやって引き出すか、どのようなテーマを持つか自発性や積極性ですので、子どもたちがどのように育つかですから、そのような子どもたちを育てるには、遊び場など子ども達が幼児期から発散する場所が必要である。静かにしなさいの教育では小1プロブレムの解消にも繋がらない。町として子どもの権利も施策の中に入れていただきたい。親御さんたちは学習支援を望むかと思いますが、町にお願いとして、こどもが自分の力で遊ぶ場所を考えていただければと思います。

熊谷町長

他にご意見ございますか。

村松委員

本町の学力が低いとは思いませんが、秋田県は学力が高いです。そんなに特別のことに取り組んでいるわけではないと話していましたが、基本的に歴史とか自然に触れていくというところで育まれているのではないかと感じておりました。都市化が進むとそれに反比例して学力が低下しているのも事実でありますので、それをどう調整するかでありますので、保護者が言っている学力とは、東北大学に入るくらいの学力を身につけると勘違いされているのではないかなと思います。遠回りはしますが最終的には学力は身につきます。やはりふれあいは、大切にしてくださいと思います。

熊谷町長

他に、ご意見ございますか。

意見なし

7 閉会